

# 宇部市スマートコミュニティ構想【概要】

## 1 構想策定の目的

本構想は、宇部市において、地域のエネルギーを総合的に管理し、エネルギーを創り、蓄え、賢く使う、スマートコミュニティ事業の展開を図るために、その基本的な方向性としてまとめました。

また、本構想は、今後の本市のスマートコミュニティの構築に向けた調査研究、実証事業、事業化へ向けての指針として位置づけています。

※スマートコミュニティとは

I C Tと蓄電池の技術を活用し、従来コントロールを行うことが困難であった需要サイドを含め、電力の需給管理を行う技術（スマートグリッド）を確立するとともに、電気に止まらず熱も含めてこれらの取組を面的に広げ、地域単位でエネルギー管理を行う分散型エネルギーシステムをスマートコミュニティといいます。

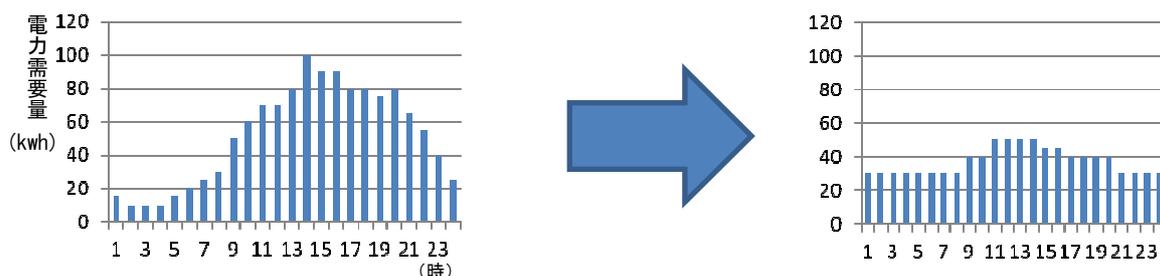
## 2 基本的な方向性

### コミュニティ全体での省エネ

これまでそれぞれの家庭や事業所で個別に行われてきた省エネをコミュニティ全体で行ない、電力を無駄なく効率よく使います。

### 総量の省エネ

家庭や事業所での様々な電力需要の形態をコミュニティ全体でとらえ、ピークカットやピークシフトにより平準化させ、賢く使います。



### 分散型発電

大規模集中型の電力供給の脆弱性に鑑み、小規模分散型および地産地消型の電源を確保するとともに、電力自由化を見据えて、宇部市に電力を安く、安定的に提供できる仕組みを構築します。

### 再生可能エネルギーの活用

火力発電や原子力発電への依存度を相対的に下げ、太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用を推進していきます。

## 3 取組内容

### (1) エネルギー利用情報管理運営者（アグリゲータ）による地域内エネルギーの供給・管理

EMS（エネルギー利用情報管理システム）、蓄電池、地域エネルギーを活用し、地域内エネルギーの供給・管理を行うスマートコミュニティを構築するために必要な取組について検討します。

### (2) 中心市街地へのスマートコミュニティの導入

本市におけるスマートコミュニティの対象エリアを、「宇部市中心市街地活性化基本計画」（平成12年3月）で定める区域に設定し、その中でも現在策定中の（仮称）宇部市にぎわいエコまち計画（低炭素まちづくり計画）における重点整備地区（3地区）について次の事項を検討します。

#### ① 宇部新川駅周辺地区

宇部新川駅周辺は、市の玄関口であり、来訪者が「宇部市スマートコミュニティ」が認識

できるようなシンボリックな施設整備を検討します。

## ② 中央町三丁目地区

中央町三丁目地区では、エネルギーの側面から「まちなか環境学習館」の活用を図るとともに、現在施行中の住宅市街地総合整備事業と連携した構想の推進について検討します。

## ③ 市役所周辺地区

市役所は、様々な面で市のコントロールセンターですので、特に市民生活の立場からは都市防災や高齢化社会に対応していくことが必要であると考えられます。スマートコミュニティを活用して、災害対策と一体となったまちづくりや、高齢者世帯の安否確認のシステム整備、電動カートの充電スタンド設置などの施策について検討します。

## (3) 市役所新庁舎のスマートビル化

庁内組織（新庁舎建設検討協議会）、市議会（新庁舎建設促進特別委員会）で検討が進められている新庁舎建設にあたっては、省エネ・創エネに対応し、設計段階から環境に配慮するとともに、運用面でもスマートなビルとなるよう検討します。

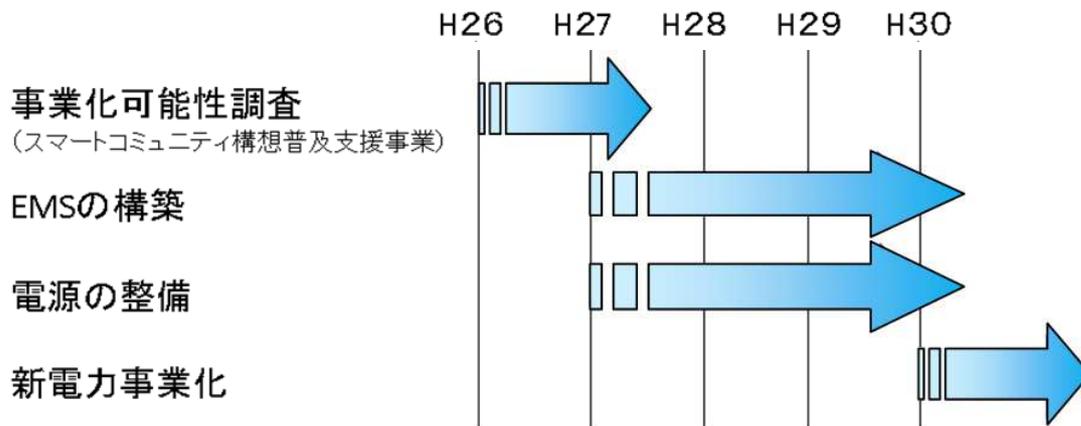
## (4) 市全域への普及

本構想は、当面、第一段階として中心市街地を対象エリアとしますが、将来的にはこれをさらに周辺地域へと拡大して本市の様々な地域においてスマートコミュニティを展開し、「宇部市まるごとスマートコミュニティ」の実現を図っていきます。

## 4 スケジュール

宇部市スマートコミュニティ構想の推進スケジュールは、以下のとおりです。

なお、電力システム改革等の進捗状況により、スケジュールの変動も考えられます。



### 平成 26 年度

国の「平成 26 年度スマートコミュニティ構想普及支援事業費補助金」を活用して事業化可能性調査（FS）を行い、平成 27 年度以降の事業化につなげます。FSにあたっては、有識者や構想推進に意欲のある事業者、団体等を構成主体とする協議会を立ち上げ、検討協議しながらすすめます。

### 平成 27～29 年度（中期）

公共施設を中心にEMSの構築を行ない、宇部スマートコミュニティ情報管理センターを設置するとともに、高圧一括受電や再生可能エネルギーによる発電などの電源の整備を行います。

### 平成 29 年度以降（長期）

現時点では平成 28 年実施予定の電力小売全面自由化、平成 30 年以降実施予定の発送電分離と電気料金の規制撤廃等の電力システム改革に対応して、新たな電力事業を事業化していきます。

# 宇部市スマートコミュニティ構想（イメージ）

